

平成27年度事業報告

事業の概要

平成27年度事業計画に基づき、香川県・中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

《公益目的事業》

(公1) 畜産の経営支援に関する事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にして、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解醸成等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデル等の創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

2. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（独）農畜産業振興機構公募補助事業

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、中核的な繁殖経営農家の育成・支援及び離島地域における肉用牛振興により、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。

区 分		内 容	奨励金 単価	金 額	備 考
肉用牛生産基盤強化対策事業	中核的担い手育成増頭推進	増頭推進 63頭	80,000円又は 100,000円	6,140,000円	香川県 農業協 同組合
地域の特色ある肉用牛振興対策事業	離島等子牛流通活性化	集出荷輸送費 51頭	400円又は 900円	36,900円	

3. 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会補助事業）

畜産経営維持緊急支援資金借受農家（1戸）の経営計画達成のため、外部有識者を招き、現地検討会の開催（1回）、支援協議会の開催（1回）、経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行った。

地区名	資金名	貸付日	貸付金額	償還期間 (据置期間)	備 考
仲多度	緊急支援資金 (養豚)	H22. 5.31	84,907,000円	15年 (5年)	2年間無利子

4. 畜産リース指導事業（（公財）畜産近代化リース協会受託事業、（公社）中央畜産会受託事業）

畜産農家が（公財）畜産近代化リース協会とのリース契約により導入した機械の保守管理状況の調査指導や事業の啓発普及に努めた。また、畜産・酪農収益力整備等特別対策事業（機械導入事業）の窓口団体として（公社）中央畜産会からの受託事業により事業推進業務を実施した。

5. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産経営を巡る情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成・発展、地域の畜産基盤の維持を図るため、畜産経営者、会員および畜産関係団体に対して経営改善支援、実態調査、情報収集およびホームページによる畜産経営技術、畜産情勢、新技術に関する情報を提供した。

1) 畜産経営技術高度化事業（独自事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、インターネットによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

2) 酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業（（公社）中央畜産会受託事業）

酪農経営は、耕畜連携による地域農業への関与、経営内及び関連産業での雇用創出など、地域経済全体でも重要な役割を占めている。その維持・拡大は喫緊の課題であり、その対策として、研修会等を実施し、今後の酪農生産基盤維持・強化への寄与とともに、交流ネットワークの構築を促進した。

3) 畜産現場における障がい者の参画推進支援事業（畜産経営支援協議会受託事業）[㊦]

畜産現場における障がい者の参画実態と参画を促進するための課題等を明らかにするため、県内の畜産経営体や畜産関連施設等 18 事例及び障がい者施設、特別支援学校等 2 事例を対象にアンケート調査および調査結果の取りまとめ報告を行った。

4) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査（（公社）中央畜産会受託事業）[㊦]

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査として、3 戸の調査を行った。

5) 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業（地域における調査・支援活動事業）^新

((公社) 中央畜産会助成事業)

県内の肉用牛及び養豚の経営技術の改善向上を図り、地域畜産基盤の維持に資することを目的に、①経営・技術情報の調査、個別支援を行った。

実施戸数：10戸（肉用牛繁殖経営6戸、肥育経営2戸・養豚経営2戸）

6. 畜産関係団体調整機能強化事業（(公社) 中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

- (1) 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉共励会に協賛した。
- (2) 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、肉牛・酪農関係団体等による讃岐畜産仲間づくり発表大会（発表3事例）を開催した。
- (3) 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第15回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。

また、さぬきうまいもんまつり「食の大博覧会2015」に協力し、畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握に努めた。

7. 畜産関係団体運営支援事業（香川県養鶏協会・香川県養豚振興会・香川県養豚協会等受託事業）

香川県養鶏協会・香川県養豚振興会、香川県養豚協会等からの事務局業務を受託、実施した。

(公2) 畜産の価格差補填に関する事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、(独) 農畜産業振興機構補助事業）

(1) 肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、平成27年度は、第6業務対象年間(27年度～31年度)の1年目として事業を実施した。

なお、第5業務対象年間(22年度～26年度)に係る生産者積立金の残額について、下表のとおり生産者積立準備金から生産者、独立行政法人農畜産業振興機構及び香川県にそれぞれ返還した。

①平成27年度生産者積立金造成状況 (単位：頭、円)

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	510	2,200	1,646,400	411,600	411,600	823,200
	437	1,200				

その他の肉専用種	0	24,400	0	0	0	0
	0	12,400				
乳用種	251	12,700	4,550,900	1,137,725	1,137,725	2,275,450
	213	6,400				
交雑種	2,769	5,000	18,834,600	4,708,650	4,708,650	9,417,300
	2,079	2,400				
合 計	6,259	—	25,031,900	6,257,975	6,257,975	12,515,950

②平成 27 年度保証基準価格及び合理化目標価格並びに平均売買価格（単位：円）

区分	品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		332,000	217,000	130,000	199,000
合理化目標価格		277,000	147,000	88,000	144,000
平成 26 年度第 4 四半期		614,000	361,900	167,700	357,400
平成 27 年度第 1 四半期		645,400	338,900	195,600	373,900
平成 27 年度第 2 四半期		664,100	328,900	236,400	377,800
平成 27 年度第 3 四半期		707,700	484,500	262,300	389,800

③平成 27 年度生産者補給金交付状況（単位：頭、円）

区 分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計
交付頭数	0	0	0	0	0
交付金額	補給交付金	0	0	0	0
	生産者積立金	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0

④第 5 業務対象年間終了に伴う生産者積立準備金の返還額

区 分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計	
返 還 額	14,242,589	11,180	40,993,948	115,869,839	171,117,556	
内 訳	農畜産業振興機構	7,125,280	5,590	20,496,974	57,934,919	85,562,763
	香川県	3,562,640	2,795	10,248,487	28,967,459	42,781,381
	生産者	3,554,669	2,795	10,248,487	28,967,461	42,773,412

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の効率化を図った。

また、事業の円滑な実施を図るため、推進会議の開催、普及啓発、調査指導及び現地調査等を行った。

2. 肉用牛繁殖経営支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補填することにより繁殖経営の所得を確保して、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る事業であるが、平成27年度については、交付実績はなかった。

肉用牛繁殖経営支援交付金交付状況 (単位：頭、円)

区 分	黒毛和種	その他の肉専用種	合 計
発動基準	420,000	280,000	—
交付頭数	0	0	0
交付金額	0	0	0

(2) 肉用牛繁殖経営支援地域推進事業

(独)農畜産業振興機構及び香川県並びに事務委託先2団体(香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会)の協力を得て、事業の円滑な推進を図るため事業内容の周知及び、推進会議の開催、普及啓発等を行った。

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（基金事業、（独）農畜産業振興機構公募補助事業、香川県助成事業）

(1) 肥育牛補填金交付対策

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益（全国平均）が生産費（全国平均）を下回った場合に、生産者の拠出と県及び農畜産業振興機構の助成により造成した肥育安定基金から、肥育牛1頭当たりの粗収益と生産費との差額の8割を肥育牛補填金として交付した。

平成27年度は、第2業務対象年間（平成25年度～27年度）の3年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し補填金を交付した。

なお、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち、肥育経営の支援対策として、平成23年度第2四半期より四半期補填を毎月補填で行っている。

平成26年度事業（平成27年2月～3月）

①肥育安定基金造成状況

(単位：頭、円)

品種区分	積立頭数	積立単価	積立所要額	負 担 区 分		
				生産者	香川県	農畜産業振興機構
肉専用種	423	72,000	30,456,000	7,461,720	152,280	22,842,000
交雑種	807	120,000	96,840,000	23,895,000	315,000	72,630,000
乳用種	139	80,000	11,120,000	2,755,600	24,400	8,340,000
計	1,369	—	138,416,000	34,112,320	491,680	103,812,000

②肥育牛補填金交付状況

(単位：頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭 数	0	405	130	535
金 額	0	1,296,000	7,839,000	9,135,000

平成 27 年度事業（平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月）

①肥育安定基金造成状況

(単位：頭、円)

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負 担 区 分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	7	72,000	504,000	123,480	2,520	378,000
	2,141	40,000	85,640,000	20,928,520	425,480	64,286,000
交雑種	2	120,000	240,000	58,800	1,200	180,000
	5,023	100,000	502,300,000	123,126,400	2,448,600	376,725,000
乳用種	701	68,000	47,668,000	14,837,200	302,800	32,528,000
計	7,874	—	636,352,000	155,929,400	3,180,600	474,097,000

②肥育牛補填金交付状況

(単位：頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭 数	0	1,349	192	1,541
金 額	0	14,623,400	4,528,100	19,151,500

(2) 肥育経営安定推進

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛補填金交付業務等について事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て推進を行った。

4. 養豚経営安定対策事業（（独）農畜産業振興機構公募受託事業、生産者受託事業）

県内の養豚事業者等に対して、事業説明会（1回）の開催による事業内容の周知、及び事業参加のための書類作成支援等を行った。

(公3) 家畜の生産衛生に関する事業

1. 家畜生産農場衛生推進事業

県下における家畜伝染性疾病の流行防止のため、畜産農場における家畜疾病の清浄化への組織的な取り組みの支援や指定する獣医師による予防接種を実施した。

1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び発生・流行防止のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病によるワ

クチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- | | | | |
|------------------------------------|----|------|------|
| (1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫推進講習会 | 3回 | 参集人員 | 64名 |
| (2) 牛白血病の清浄化を図るための防疫推進講習会 | 4回 | 参集人員 | 119名 |
| (3) 農場飼養衛生管理強化対策事業に係る検討会 | 1回 | 参集人員 | 14名 |
| (4) 農場飼養衛生管理強化推進講習会 | 1回 | 参集人員 | 55名 |
| (5) ワクチン接種計画策定会議 | 1回 | 参集人員 | 9名 |
| (6) 事業推進会議 | 1回 | 参集人員 | 14名 |
| (7) 農場飼養衛生管理強化のための農場指導(豚4農場・牛10農場) | | | |

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
牛	牛異常産三種混合	4,400	2,112	1,606	3,718	85
	牛アカバネ病	0	0	1	1	100

2) 農場 HACCP 認証支援地域強化促進事業 ((公社)中央畜産会受託事業)

農場 HACCP の構築に取り組む農場(酪農1戸、養豚2戸)に対して、農場 HACCP 認証基準に基づき専門家による農場 HACCP の構築指導を行い、県内の農場 HACCP 取組の中核となる農家への支援を行った。

3) 自衛防疫強化特別対策事業(家畜衛生対策推進協議会受託事業)

県内伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動の有効な方策、特定疾病発生・拡大防止に関する検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、特定悪性慢性感染症(牛白血病)清浄化の推進、飼養衛生管理基準の徹底、啓発等を実施した。

(1) 地域自衛防疫体制強化推進対策

地域自衛防疫体制強化推進事業に係る会議 1回 参集人員 48名

(2) 地域自衛防疫活動推進対策

香川県鳥インフルエンザ研修会(机上演習) 参集人員 117名

多段式鶏舎における鳥インフルエンザ発生を想定した防疫演習(実地演習)

参集人員 16名

鳥インフルエンザ防疫演習(実地演習)

参加人員 12名

養豚生産者を対象とした口蹄疫防疫演習(机上・実地演習) 参集人員 24名

(3) 慢性感染症清浄化支援対策(1集団2農場)

牛白血病抗体検査153頭、PCR検査420頭、防虫ネット設置 1農場

(4) 飼養衛生管理基準啓発推進対策 研修会2回 参集人員 102名

4) 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業 ((公社)中央畜産会受託事業)

在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会を開催し、馬伝染性貧血の清浄化を図るため、馬伝染性貧血の定期的な検査対象となっていない在来馬等について、飼

養及び衛生状況の実態調査を実施した。

- (1) 馬防疫強化地域推進対策事業 検討会 2回 参集人員 12名
- (2) 在来馬等馬伝染性貧血清浄化推進事業
在来馬等の飼養・衛生状況実態調査 2か所

5) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ((公社)中央畜産会受託事業)

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種の推進を実施した。

- (1) 馬防疫強化地域推進対策事業 検討会 2回 参集人員 12名
- (2) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業 ワクチン接種頭数 43頭

6) 豚流行性下痢(PED)まん延防止体制支援強化事業((公社)中央畜産会受託事業)

PED地域対応推進対策会議を開催し、国の豚流行性下痢(PED)防疫マニュアルに基づいて作成した香川県防疫計画に基づき、獣医師による衛生管理点検指導を実施し、衛生状況の確認を実施した。

豚流行性下痢まん延防止強化対策事業

- (1) PED地域対応推進対策会議 3回 参集人員 42名
- (2) PEDまん延防止衛生指導対策 PEDまん延防止衛生指導 42回

7) 野生獣衛生体制整備緊急対策事業 (家畜衛生対策推進協議会受託事業)

野生獣被害低減対策を支援するため、県内の家畜衛生関係者等を中心とした畜産分野での情報発信体制を構築・整備するとともに、野生獣に係る衛生実態の調査等を行った。

野生獣衛生地域対策推進モデル事業

- (1) 地域衛生技術連絡協議会の開催 3回 参集人員 44名
- (2) 野生獣の衛生実態等調査 シカ 17頭、イノシシ 16頭 合計33頭
- (3) 調査対象
シカ — ウイルス抗体検査及び重金属等7項目
イノシシ — 細菌・ウイルス等抗体検査及び重金属等10項目

8) 特定疾病防止事業 (独自事業)

牛・豚の各種疾病(牛コロナウイルス・牛ヘモフィルス・牛大腸菌性下痢症、豚丹毒・日本脳炎・豚パルボ等)の発生予防のため、指定獣医師により予防接種を実施した。

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒	3,500	98	4,995	5,093	146
	日本脳炎	1,500	1	871	872	58
	日本脳炎・豚パルボ混合	110	0	115	115	105
	日脳・パルボ・ゲタ	1,100	13	1,725	1,738	158
	TGE・PED混合	700	21	594	615	88
牛	牛イバラキ病	800	622	196	818	102
	牛流行熱	0	2	2	4	100
	牛IBR	0	3	0	3	100
	牛五種混合	1,580	1,224	557	1,781	113
	牛六種混合	30	1	2	3	10
	牛ヘモフィルス	350	414	10	424	121
	牛大腸菌性下痢症	100	38	59	97	97
	牛コロナウイルス感染症	1,400	483	455	938	67
	牛下痢五種混合	400	235	289	524	131
	牛マンヘミア・ヘモリチカ	120	74	40	114	95
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	120	1,100	59	1,159	966

指定獣医師の指定

区分	指定人数
公益社団法人 香川県獣医師会	5名
香川県農業共済組合	24名
計	29名

2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国公募補助事業）

48ヶ月齢以上の死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進して、BSEに対する不安を払拭するため、県内で死亡した牛の所有者に対し処理経費助成等を行った。

区分	内容
死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	1回 参集人員 12名
死亡牛検査処理安定化対策	処理頭数 216頭

3. 家畜防疫互助基金支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

口蹄疫、豚コレラ等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について、周知、参加促進を図った。平成27年度は、事業実施期間（平成27年度～29年度）の1年目として事業を実施した。

生産者積立金造成状況

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛（24ヶ月齢以上）	214	4,528	235	1,064,080
	乳牛（24ヶ月齢未満）		693	95	65,835
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢以上）		1,300	225	292,500
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢未満） 及び肉専用種肥育牛		6,143	110	675,730
	肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		11,264	105	1,182,720
	乳用種肥育牛		993	95	94,335
※豚	繁殖用種豚（雌）	19	3,558	120	426,960
	繁殖用種豚（雄）		200	120	24,000
	肥育豚（21日齢以上）		26,290	30	788,700
合 計		233	54,969	—	4,614,860

※家族型

(公4) 畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業

1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛、讃岐夢豚、讃岐コーチン）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、県内外におけるイベントへの参加、消費者懇談会、料理教室の開催、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、県産特産畜産物として認知度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

また、讃岐牛・オリーブ牛及びオリーブ夢豚の生産・販売体制を構築するとともに、今後の生産販売の基礎確立に努めた。

2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳乳製品の消費促進のため、「ミルクメッセ2015inかがわ」のイベント開催、「高松食と農のフェスタ2015」での牛乳・乳製品消費啓発、牛乳・乳製品消費啓発パンフレットの配布、ミルクドリンクのレシピ紹介及び試飲等を実施した。

実施回数	イベント名	実施場所
1回	さぬきうまいもんまつり「食の大博覧会2015（ミルクメッセ2015inかがわ）」	高松市 サンメッセ香川 大展示場
1回	高松食と農のフェスタ2015	高松市 サンメッセ香川 大展示場

3. 学校給食用牛乳等供給推進事業（国公募補助事業）

安全で品質の高い国内産牛乳を学校給食用に年間を通じて計画的かつ効率的に供給することを推進するとともに、学校給食における乳製品の供給を推進する。

(1) 供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた供給の効率化を推進するため、推進会議等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳等供給推進会議	2 回
学校給食用牛乳等供給推進会議による実態調査	1 回

(2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、不利な供給条件に基づき増しとなる経費相当額の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	対 象 地 区
4,838,473 本	綾歌郡、丸亀市（第1区域、第2区域）、土庄町、直島町、小豆島町、三木町、仲多度郡、善通寺市

(3) 牛乳・乳製品利用拡大推進事業（学校給食における発酵乳等利用拡大）

学校給食における乳製品の供給を推進するため、牛乳に加えて提供される発酵乳及びチーズを対象として、供給数量に応じて学校の設置者等に交付した。

供給個数			対 象 地 区
発酵乳	チーズ	合 計	
90,787 個	11,108 個	101,895 個	さぬき市、丸亀市、綾川町、宇多津町、小豆島町

《収益事業等》

(他 1) 生乳(原料牛乳)の検査に関する事業

1. 生乳検査事業

酪農経営の安定と生乳の品質改善等のため、畜産農家の依頼による生乳の成分、品質などの検査を実施した。

2. 生乳検査受託事業（四国生乳販売農業協同組合連合会受託事業）

四国生乳販売農業協同組合連合会の委託を受けて生乳検査を実施した。

検査件数は 160,060 件で前年比 91.1%であった。項目別検査の前年比は配分検査 93.0%、牛群検査 89.8%、依頼検査 96.3%であった。

四国四県の項目別検査件数（参考）

（単位：検体数）

区 分	27 年度					26 年度
	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	4 県合計	
配分検査	4,636	6,173	7,203	3,146	21,158	22,759
牛群検査	20,754	21,052	49,066	23,559	114,431	127,482
依頼検査	21,593	2,514	0	364	24,471	25,400
合 計	46,983	29,739	56,269	27,069	160,060	175,641

（他 2） その他畜産振興に関する事業

- 1 会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- 2 畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- 3 畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。